

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井公民館、分館（中央、東福寺、川柳、共和、信里、西寺尾、塩崎）							
指定管理者名	篠ノ井地区住民自治協議会				法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	5965	篠ノ井公民館			3363	篠ノ井公民館信里分館		
	5958	篠ノ井公民館中央分館			3368	篠ノ井公民館西寺尾分館		
	3367	篠ノ井公民館東福寺分館			3365	篠ノ井公民館塩崎分館		
	3366	篠ノ井公民館川柳分館						
	3364	篠ノ井公民館共和分館						
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	本館：学習室6、料理教室1、工作室1、展示ホール2 中央分館：学習室2、多目的ホール1 東福寺分館：学習室2、集会室1、料理教室1 川柳分館：学習室3、集会室1、料理教室1 共和分館：学習室3、集会室1、料理教室1 信里分館：料理教室1 西寺尾分館：学習室2、料理教室1、体育館1 塩崎分館：学習室3、集会室1、料理教室1							
施設設置目的	一定区域内の住民のために生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・公平、公正な運営に努める。 ・各種団体等と連携を図り、地域文化の中核的役割を果たす。 ・利用者の安全対策に万全を期す。 ・住民のニーズを把握し、創意工夫をし、親切丁寧な対応を心掛け、苦情に対しては真摯に対応する。 ・館内を清潔に保ち、機能の維持向上に努め維持管理を徹底する。 ・環境に配慮し省エネ及び経費節減に努める。 ・個人情報の保護に努める。 							
主な実施事業	成人学校の開催14講座、市民講座の開催48講座、通年定期講座の開催1講座8回、体育事業の実施4回、文芸祭の開催1回、各分館毎の文化事業及び運動会の開催、施設の貸出、体育施設の貸出、各種団体等との連携事業の実施							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	篠ノ井地区住民自治協議会		指定回数	2 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日	1年	管理運営開始日 平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)			3	

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	篠ノ井公民館 利用者数	人	44,813	45,264	45,053	44,090	98%	
	篠ノ井公民館 利用率		32.1	33.5	34.6	35.2	102%	
	篠ノ井公民館分館(7館)	人	43,448	43,719	45,522	43,449	95%	
	篠ノ井公民館分館(7館)利用率		16.9	18.0	16.9	16.9	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由	3
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 篠ノ井公民館の利用の許可、不許可等に係る業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 篠ノ井公民館の施設、設備及び物品の維持管理に関する業務 		
	自主事業			

サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ソフト面においては、市民ニーズに即した市民講座を年間48講座74回、通年定期講座1講座(8回)を開催するなど、積極的な事業展開をするとともに、広報としては館報(年3回全戸配布)、工夫を凝らしたポスターやチラシを作成し、HPや報道機関(信毎・週刊長野・市民新聞)、施設への掲示等を通じて広報に努めた。ハード面では、利用者に快適に使っていただくため、経費の節減に努め施設改修を行い、本館関係 1箇所(5,400円)、分館関係5箇所(497,696円)を実施した。
--------------------	---

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 ①各講座終了後、受講者にアンケートを行った。48講座、受講者数2959人、回答者数1380人(47%)。 ②貸館業務では、貸館終了後に使用日誌に記入していただいている。</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 ①市民講座の受講生アンケート結果 ・ 講座数：48講座 ・ 回答者数：1,586人 満足：1,272人 まあ満足：293人 少し不満：17人 不満：1人 ② 講座の種類 講座数 受講者数 回答数(%) 満足(%) やや満足(%) やや不満(%) 不満(%) ・ 料理関係 4講座 84人 83人(99%) 52人(63%) 30人(36%) 1人(1%) 0 ・ デジタル関係 3講座 56人 48人(86%) 7人(13%) 1人(1%) 0人 0</p>	
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 ・ 成人学校や市民講座などたくさんあって良いです。 ・ ロビーでの展示会、コンサート、山野草展示等とても充実しており感心します。 ・ 親切で丁寧に教えていただき良かった(「小菊盆栽」「つるし雛」など) ・ テレビ・新聞では得られない解説付きで興味深く楽しみでした(「ニュースを読む」) ・ 生の演奏会を久しぶりに聴くことができ、とても楽しい時間を過ごせました(「JAZZコンサート」「マンドリン演奏と歌声コンサート」)</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ・ 駐車場が狭い。 ・ 市民「スポーツ吹矢」の回数、定員を増やしてほしい。</p> <p>《対応措置》 ・ 駐車場については、篠ノ井駅西口の市の駐車場の借用数を増やして対応したい。 ・ 新しい交流センターに移行したら、「スポーツ吹矢」等の定員を増やしたい。</p>		

4 事業収支

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金		利用料金		使用料	21,480	使用料	60,090	歳入		
	指定管理料	28,105,000	指定管理料	28,105,000	雑（納付金）	1,774,466	雑（納付金）	1,900,093			
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料				
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料				
	その他収入	5,905,883	その他収入	5,428,940	その他		その他				
	前年度繰越金		前年度繰越金								
	計	34,010,883	計	33,533,940	計	1,795,946	計	1,960,183			
	支出	人件費	13,317,077	人件費	13,299,400	指定管理料	28,105,000	指定管理料		29,985,000	歳出
		設備管理費	2,387,000	設備管理費	1,898,247	委託料		委託料		6,779,757	
		備品購入費	0	備品購入費	154,440	需用費	2,006,495	需用費		2,110,692	
修繕費		0	修繕費	503,096	役務費		役務費				
光熱水費		8,558,000	光熱水費	5,275,226	使用料・賃借料	8,941,865	使用料・賃借料	8,873,145			
事業費		5,540,000	事業費	6,080,956	修繕費		修繕費				
事務経費		2,693,000	事務経費	4,981,592	工事請負費	3,240,000	工事請負費	185,760			
本社経費			本社経費		備品購入費	40,193	備品購入費				
その他		1,515,806	その他	1,500,000	その他		その他				
計		34,010,883	計	33,692,957	計	42,333,553	計	47,934,354			
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益		0		-159,017	差引	-40,537,607		-45,974,171			
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								39.5%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

3

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名、主事5名 計6名(全員篠ノ井管内居住)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか 2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか	<input checked="" type="checkbox"/>	

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	4			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体、各サークル等と常に連携する、必要に応じて法人、企業とも情報を共有し地域全体の係りを広める。 ・地域の課題を焦点化し、地域の求める講座・講演等を企画運営する。 ・地域社会の理解を深める学びの場を多くするとともに、地域の人材育成に努める。 ・分館や地域公民館との連携を密にし地域の生涯学習の向上に努める。 ・住民の要望意見を積極的に聴取し住民が求める公民館運営に努める。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体、各サークル等と常に連携する、必要に応じて法人、企業とも情報を共有し地域全体の係りを広める。 ・地域の課題を焦点化し、地域の求める講座・講演等を企画運営する。 ・地域社会の理解を深める学びの場を多くするとともに、地域の人材育成に努める。 ・分館や地域公民館との連携を密にし地域の生涯学習の向上に努める。 ・住民の要望意見を積極的に聴取し住民が求める公民館運営に努める。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体、各サークル等と常に連携する、必要に応じて法人、企業とも情報を共有し地域全体の係りを広める。 ・地域の課題を焦点化し、地域の求める講座・講演等を企画運営する。 ・地域社会の理解を深める学びの場を多くするとともに、地域の人材育成に努める。 ・分館や地域公民館との連携を密にし地域の生涯学習の向上に努める。 ・住民の要望意見を積極的に聴取し住民が求める公民館運営に努める。 				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			66

評価理由	<p>令和元年度に篠ノ井総合市民センターに移転することが決定しているが、丁寧に施設の維持管理を行い、公民館利用者の立場に立った施設運営を行った。多くの講座を実施する中、ポスターやチラシの作成に工夫を凝らし、報道機関やホームページで周知を図り、ニーズに即した市民講座を積極的に実施した。受講者アンケートでは回答者のうち約98%が満足（ほぼ満足）と評価、不満（やや不満）の内容は、施設の工事（駐車場が少ない、雨の日は駐車場に水たまりが多く歩きづらい等）によるもので、講座内容は充実していた。また、地域の小学校との連携による事業が4年目を迎え継続していることから利用者評価、地域連携を「4」とした。</p>
------	--

取組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）

次年度の目標・取組み等（施設所管課）	<p>次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。また、新施設で事業が開始されるが、職員間での情報共有を図り、施設の安全管理に努めてほしい。</p>
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・篠ノ井地区住民自治協議会「公民館・交流部会」や地域の小中学校との連携を密にし、「篠ノ井地区青少年健全育成大会」「篠ノ井地区人権を尊重し合う篠ノ井市民のつどい」「玄関に愛のひと鉢運動」「学び館事業」「あいさつ運動」など中心となって行なった。
- ・市民講座等のたびに利用者アンケートを行い、要望を把握、分析、改善、反映を行い、サービス向上に努めた。
- ・施設の改修が必要な箇所をいち早く発見し迅速に修繕を行なうとともに、より便利に利用できるよう積極的に施設改修に努めた。
- ・独自のホームページを立ち上げ、頻繁に最新の情報をアップし、情報発信に努めた。
- ・分かりやすく、魅力的で発信力の高いチラシやポスターを製作・配布・掲載し、受講機会の向上に努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・日頃の経費節減に努めるとともに、施設利用にあたり施設改修等も含め利用者の利便の向上に努めた。
- ・講師との連携を密にし講座内容の充実を図ると共に利用者へのアンケートやコミュニケーションを大事にしてきた。
- ・職員間のコミュニケーションを図るため打ち合わせ、ミーティングは毎日行っている。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

篠ノ井公民館は、本館のほか7分館を所管し、約16,500世帯 約42,300人を対象とする市内最大の公民館のため、各施設の管理並びに地域性の違いやニーズの多様化及び分館間の調整など多大な労力を必要としている。
 地域内に、子育て支援を行なう「こどもひろば このゆびとまれ」 青少年支援を行なう「南部勤労青少年ホーム」 女性支援を行なう「南部働く婦人の家」 高齢者支援を行なう「老人福祉センター」などの市有施設があり、それぞれが対象者別に公民館と同様の講座等を開催しており、連携協力体制を強化して地域の要望に応じていきたい。
 子供や若年層の取り込み、子育て支援など一層推進していきたい。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

利用状況については総合市民センターの工事に伴う駐車場の制約や中央分館の利用期間短縮に伴う影響による利用者数の低減が認められるが最小限に止まっていると考えられる。利用者の評価も良好で大きな障害・事故等も無く、財務的にも健全で安定的な運営を行った。

② 次年度以降の取組み

2019年度も引き続き地域の文化教養の受発信機能を発揮すると共に地域住民の交流のハブとしての機能を発揮させていく。また、9月より新施設での運用が始まるが、交流センターと老人福祉センターの複合施設のため双方の利用者が混乱しないように留意する。多目的ホールについては収納式観客席など、今まで管理経験が無い機能があるため必要スキルを習得し安全運用に努める。従来の受講料収入以外に施設利用料収入が発生するためそれらの管理を適切に行う。与えられた資源を効率的にかつ心を通わず対応で地域の期待に応えていきたい。